

2022（令和4）年度
杏林大学医学部大学院医学研究科共同研究施設部門
実験動物施設部門
動物実験に関する関連情報

I. 飼養及び保管の状況

1) 動物種

哺乳類、両生類、爬虫類

2) 動物数（毎年特定日の飼養数）

2022（令和4）年度3月31日集計

動物種	飼養数	飼養匹数（概数）
マウス	1,310 ケージ	5,240 匹（平均4匹／ケージとして）
ラット	21 ケージ	42 匹（平均2匹／ケージとして）
ウサギ	0 ケージ	0 匹（1匹／ケージとして）
スナネズミ	0 ケージ	0 匹（平均4匹／ケージとして）
ウシガエル	0 匹	0 匹
ニホンザル	0 ケージ	0 匹（平均1匹／ケージとして）
ヘビ	0 匹	0 匹
モルモット	5 ケージ	10 匹（平均2匹／ケージとして）
計	1,336 ケージ	5,292 匹

3) 施設の情報（機関の長によって承認された飼養保管施設の総数並びに主要な飼養保管施設の名称）

ア 飼養保管施設の総数：1

イ 主要な飼養保管施設の名称：杏林大学医学部大学院医学研究科共同研究施設部門実験動物施設部門

II. その他

1) 2022（令和4）年度の実験計画書の年間承認件数

87 件

2) 2022（令和4）年度の教育訓練の実績

年度内12回実施、28名受講

3) 動物実験委員会

2022（令和4）年度の委員の構成

2022（令和4）年度の動物実験委員は機関の長たる学長が「動物実験等に関して優れた識見を有する者」、「実験動物に関して優れた識見を有する者」、「その他学識経験を有する者」にそれぞれ該当する者2名以上を、杏林大学医学部の臨床医学系講座より3名、基礎医学系講座より6名の教職員から選出した。

以上